産学官の連携について

東京工業大学 藤井 聡

産官学連携

「目標達成」のために

産 (活力)

官 (制度)

学 (知識)

が連携をとる.

(事例1)日本モビリティ・マネジメント会議

趣旨(目標)は,日本の各地の「モビリティ・マネジメント」(良質なモビリティを目指した,コミュニケーションを中心とした一連の取り組み)を支援・促進するための会議 (第一回昨年at東京[63編],第二回本年at札幌 [65編])

主催: (社)土木学会·国土交通省

ここに, モビリティ・マネジメントは...

- ・産(交通事業者/コンサルタント)の技術と活力
- ·官(国/自治体) の支援とイニシアチブ
- ・学(大学)の 知識

があってはじめて,民(公衆·社会)が 自発的に変わる契機となりうる.



JCOMM実行委員会

委員長 石田 東生 筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授

幹事長 藤井 聡 東京丁業大学大学院理丁学研究科 教授

委員 佐々木 良 国土交通省総合政策局交通計画課 課長

委員 徳永 幸久 国土交通省都市 地域整備局都市計画課都市交通調査室 室長

委員 縄田 正 国土交通省道路局企画課道路経済調査室 室長

委員兼幹事 阪井 清志 国土交通省国土技術政策総合研究所 都市施設研究室 室長

委員兼幹事 奥谷 正 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路研究室 室長

委員兼幹事 塚田 幸広 国土交诵省道路局道路交通管理課! TS推進室 室長

幹事 笠野 大 国土交通省総合政策局交通計画課 調整係長

幹事 松浦 利之 国土交通省都市 · 地域整備局都市計画課都市交通調查室 課長補佐

幹事 田中倫英 国土交通省道路局企画課道路経済調査室 課長補佐 幹事 井坪 恒二 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路研究室

委員兼幹事 原 文宏 (社)北海道開発技術センター 理事

委員兼幹事 白水 靖郎 中央復建コンサルタンツ(株)計画系グループ統括リーダー

委員兼幹事 牧村 和彦 (財)計量計画研究所交通研究室 室長

委員兼幹事 東徹 (社)システム科学研究所 調査研究部 副部長

委員 谷口 守 岡山大学大学院環境学研究科 教授

委員 高山 純一 金沢大学大学院自然科学研究科環境科学専攻 教授

藤原 委員 童正 広島大学大学院国際協力研究科 教授

委員 高野 伸栄 北海道大学大学院工学研究科北方圏環境政策工学専攻 助教授

委員 溝上 章志 熊本大学大学院自然科学研究科環境共生工学専攻 教授

委員兼幹事 綾子 筑波大学大学院システム情報工学研究科 講師 谷口

松村 暢彦 大阪大学大学院丁学研究科ビジネスエンジニアリング専攻 助教授 委員兼幹事

委員兼幹事 山本 俊行 名古屋大学大学院丁学研究科社会基盤丁学専攻 助教授

委員兼幹事 佐々木邦明 山梨大学土木環境工学科 助教授

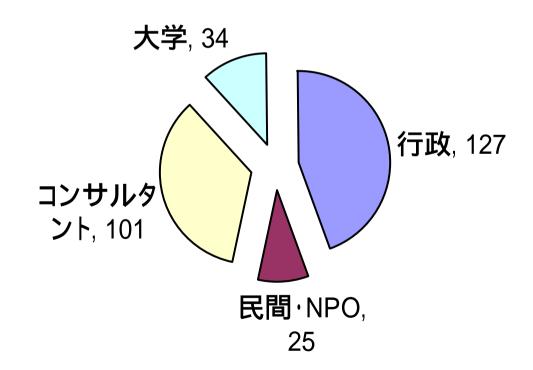
学

中

第一回JCOMM参加者



参加登録 287名 (当日参加者含めて 約300名)



(事例2)個々のプロジェクト

- 松藤(福井県)藤井(東工大)長谷川(中央復建)西堀(中央復建):総合都市交通体系調査でのモビリティ・マネジメントの位置付け
- 大高(埼玉県)藤井(東工大)岩崎(国交省)神田(朝霞市)堀田(日能研):埼玉県で実施した職場MMの 概要と成果
- 東(社・システム科学)村尾(京都府)酒井(まち創生研)小西(地域未来研)藤井(東工大):工業団地に おける「共同バス」の導入を中心とした職場MM
- 宮川(社・システム科学)村尾(京都府)萩原(東工大)小西(地域未来研)藤井(東工大):企業を対象としたモビリティ・マネジメントの取り組み
- 古市(社・システム科学)村尾(京都府)島田(京都府)與口(社・システム科学)井上(京地球温暖化センター)藤井(東工大):京都府南部地域における居住者向けMM
- 島田(京都府)村尾(京都府)藤井(東工大): 宇治地域における職場TFPとその効果
- 橿村(中央復建)中島(京都国道)大西(京都国道)村尾(京都府)若林(名城大)藤島(立命館)藤井(東工大):京都府における免許更新時講習等を活用したモビリティ・マネジメントの取組
- 谷口(大分県)宇野(株・KCS)吉松(株・KCS)石田(株・KCS)藤井(東工大)大分市における系統番号の改変とコミュニケーション施策を組み合わせたモビリティ・マネジメント
- 酒井(株・まち創生研)藤井(東工大)村尾(京都府):行動意図法(BI法)によるバス路線の需要推定の 検証
- 小西(株・地域未来研)村尾(京都府)矢野(京都府)大江(宇治田原町)貞松(株・地域未来研)藤井(東工大):一日限定の渋滞解消社会実験による地域的なMM機運醸成事例
- <u>齋藤(豊橋市)山口(豊橋市)藤井(東工大)小原(㈱建技)椎貝(㈱建技)水本(㈱建技)</u> 善とTFPの組み合わせによるフィーダーバス路線の再生のためのモビリティマネジメント



(第二回JCOMM投稿論文から,報告者連名分を抜粋)

(事例2)個々のプロジェクト

行政 = MMの実質的主体

(ただし,異動あり)

コンサルタント = MM実施の技術者

(ただし,競争あり)

大学 = MMの持続的な知識支援

(ただし,主体には成り得ない)

(少なくとも現在の日本の状況では)

この三者が三様の役割を担いながら,協働していくことが, 効果的かつ持続的に交通プロジェクトを進めていく上で,

極めて重要である。